

# 日本 K-ABC アセスメント学会

## 第18回大会（奈良大会）第1号通信

平成27年2月吉日

日本 K-ABC アセスメント学会18回（奈良大会）

主催 大阪 K-ABC 研究会

大会長 大久保純一郎（帝塚山大学）

事務局長 上嶋恵（子どもの教育研究所）

余寒の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、日本 K-ABC アセスメント学会第18回大会を奈良県奈良市にて、下記の要領で開催させていただくことになりました。何かとご多用とは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 日 時 平成27年8月8日（土）～8月9日（日）
2. 会 場 帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス（奈良市学園南3-1-3）
3. 後 援 日本 K-ABC アセスメント学会
4. 大会テーマ 『教育の場で苦戦を強いられる子どもたちへのアプローチ』
5. 大会日程

8月8日（土）		8月9日（日）	
		8:30～	受付開始
9:30～	受付開始	9:00～	総会
10:15～	開会		
10:30～ 11:50	基調講演 「ライフスパンから見たKABC-Ⅱの臨床的適用」 講師：藤田和弘先生（九州保健福祉大学）	9:50～ 11:50	研究発表Ⅱ（3室にて実施） 2演題×3室 計6演題
12:00～ 13:00	昼食・地域研究会交流会	12:00～ 13:00	昼食 総務委員会、研修委員会、編集委員会、広報委員会、検査者・講師資格認定委員会
13:15～ 14:45	教育セミナー 「KABC-Ⅱ・WISC-Ⅳ・新版K式、それぞれの検査の特徴と長所」 指定討論者：山田充先生（日置荘小学校） 講師：小野純平先生（法政大学）KABC-Ⅱ 大六一志先生（筑波大学）WISC-Ⅳ 大久保純一郎先生（帝塚山大学）新版K式	13:15～ 14:45	教育講演 「KABC-Ⅱの新しい解釈 —プロフィール分析からプロセス分析へ」 講師：青山真二先生（北海道教育大学） 服部環先生（法政大学）
15:00～ 17:00	研究発表Ⅰ（3室にて実施） 2演題×3室 計6演題	15:00～ 16:30	公開シンポジウム 「教育の現場で苦戦を強いられている子どもたちへのアプローチ」 指定討論者：米田和子先生 （NPO法人ラヴィータ研究所 子ども発達支援センター・リソースルーム「和」） 講師：笹木よしの先生 （海陽町役場のびのび教室）幼児期 上嶋恵先生 （子どもの教育研究所）児童期 熊上崇先生（立教大学）青年期
18:00～ 20:00	情報交換会	16:30	閉会

## 6. 研究発表の申し込み

### （1）発表の要領

すべて口頭発表の形式で、1演題につき、60分（質疑応答を含む）を予定しています。発表会場には、プロジェクターとパソコンをご用意いたします。その他の機器の使用をご希望の方は、事務局までご相談ください。

### （2）発表の要件

筆頭発表者になれるのは、期間中1回に限ります。ただし、連名発表者はこの限りではありません。筆頭発表者は正会員であり、平成26年度年会費を納入し、所定の期日までに発表申し込みをしている必要があります。現在、会員でない方で発表を希望される場合は、以下の本部事務局にお問い合わせの上、入会手続きを行ってください。

入会手続き：日本 K-ABC アセスメント学会本部事務局

〒112-0002 東京都文京区小石川五郵便局留 日本 K-ABC アセスメント学会 事務局

TEL：03-3944-1390 E-mail：honbu-jimu@k-abc.jp

### （3）発表の申し込み

平成27年4月17日（金）までに、下記のホームページより参加登録を行い、必要事項をご記入ください。

<ホームページからのお申込み> <http://www.osaka-kabc.jp/>

- ①発表者のお名前と所属（連名発表の場合、筆頭発表者に○をつけてください。）
- ②発表演題
- ③使用機器の希望（プロジェクター・パソコン）
- ④筆頭発表者の連絡先（郵便番号、住所、電話、FAX番号、E-mailアドレス）

## 7. 発表原稿の作成と送付

発表原稿は、原稿作成要領にしたがって作成し、**平成27年5月15日（金）**までに以下の宛先まで、E-mailでご送付願います。送付された原稿は、事務局にて誤字・脱字および記録用紙の点数の確認または修正のみさせていただきます。

<発表原稿の送付先>E-mail：ktabei11@nifty.com

大阪 K-ABC 研究会事務局 田部井紀美子

## 8. 参加申し込み

参加申し込み、参加費の振込み等につきましては、5月22日発行予定の「第2号通信」で、お知らせします。

## 9. 宿泊等の斡旋について

奈良大会では、宿泊先等の斡旋は行いません。開催時期が夏休み中で混雑が予想されますので、宿泊先及び交通手段の手配はできるだけ早くから手配されることをお勧めいたします。

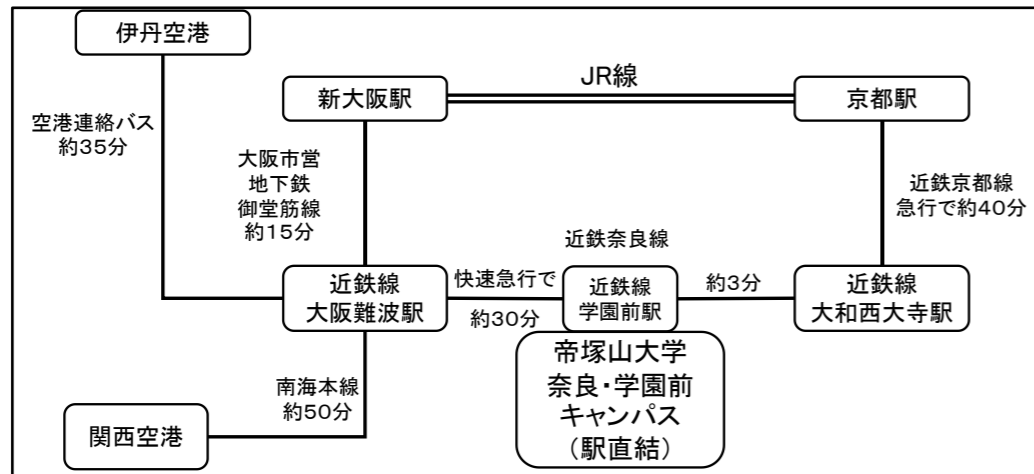
10. 今後の予定

①研究発表申し込み締め切り	平成 27 年 4 月 17 日 (金)
②発表原稿送付締切	平成 27 年 5 月 15 日 (金)
③第 2 号通信の発送	平成 27 年 5 月 22 日 (金)
④参加申し込み締め切り	平成 27 年 7 月 10 日 (金)

11. 大会に関するお問い合わせ

日本 K-ABC アセスメント学会第 18 回 (奈良大会) 実行委員会  
**事務局 盛永政和 (子どもの心理・教育研究所 ひかり塾)**  
 TEL : 0745-60-4010  
 E-mail : osaka.kabc@gmail.com

12. 会場へのアクセス



※表示された時間は目安です。事前にお調べになる等、余裕を持ってお越しください。

13. 発表原稿作成要領

原稿は、以下の要領で作成をお願いします。

(1) ページ数

原稿の長さは、A4 で 6 ページ分とし、検査結果の表等を含みます。

(2) 書式

次頁の<発表原稿の書式>をご参照ください。余白は、上下、左右 20mm です。1 ページ目は、タイトル (MS ゴシック 14P) と所属・氏名 (MS ゴシック 10.5P) で 7 行、2 ページ目以降は 23 文字×50 行の 2 段組 (MS 明朝 10.5P) です。

(3) 構成と内容の例

- ①タイトル
- ②発表者 (所属)
- ③対象児 (在籍する学校・学級、学年、診断を受けている場合は診断名、性別等)
- ④主訴 (養育者、学級担任などからの主訴)

⑤背景となる情報 (対象児を特定できる可能性のある個人情報は記載しない)

- 1) 生育歴及び現在までの経過 2) 家庭環境 3) 学校や家庭での現在の様子

⑥KABC-II の検査結果と解釈

大阪 K-ABC 研究会ホームページ内 (<http://osaka-kabc.jp>)

から、「検査結果 (見本)」の表をダウンロードできますので、ご活用ください。

「K-ABC」「KABC-II (カウフマンモデル)」「KABC-II (CHC モデル)」があります。

なお、表は PDF ファイルの為、手書きとなります。

⑦その他の検査結果と解釈 (KABC-II 以外に実施した検査がある場合)

⑧総合解釈と指導 (支援) 方針

⑨指導経過及び指導結果 (指導開始時の状態、指導した課題、指導機関や指導頻度・時間、指導経過、指導後の状態、指導課題以外での日常変化等)

⑩まとめと今後の課題 (指導・支援の要点と、その根拠となった検査結果の解釈、十分に指導しきれなかった点や次に取り組むべき課題等)

⑪文献 (引用文献を記載する)

<発表原稿の書式例>

